

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

群馬県 川場村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	88.77	87.85	1,760

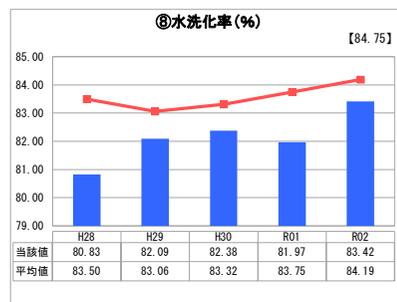
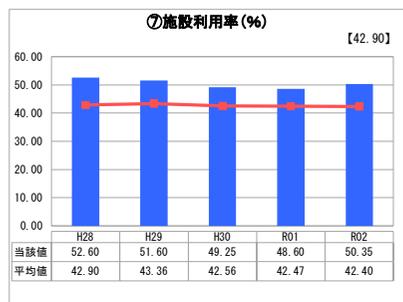
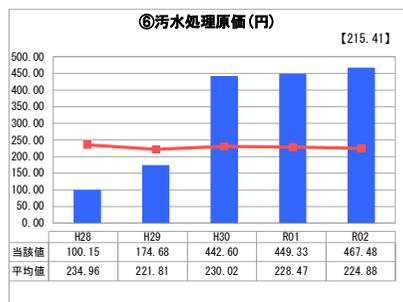
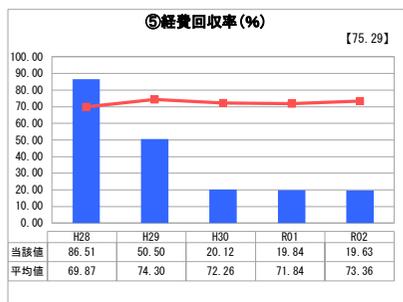
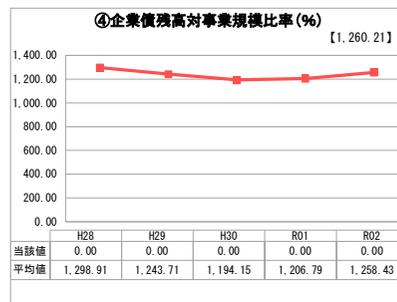
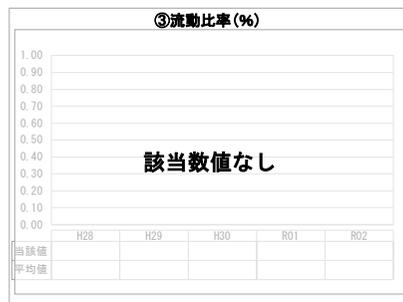
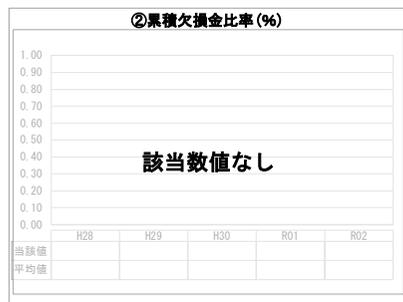
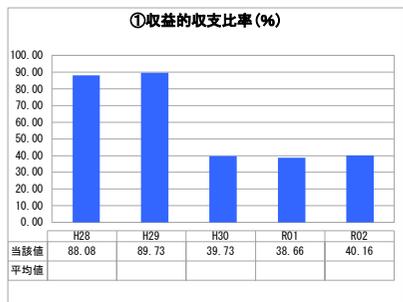
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,219	85.25	37.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,829	1.58	1,790.51

**グラフ凡例**

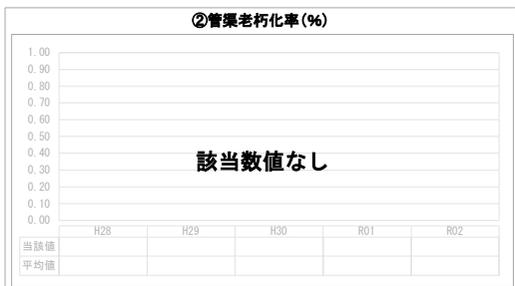
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

「収益的収支比率」、「経費回収率」ともに前年度とほぼ同水準である。また、「汚水処理原価」も横ばいであり、下水道事業運営に要する経費を一般会計からの繰入金に頼っていることが大きな要因である。

「企業債残高対事業規模比率」は、地方債現在高をすべて一般会計負担額として計算しているため、数値が出てこない。

一般会計負担額を減らせるように料金改定をおこなっていく必要がある。

健全性・効率性ともに良くない状態が続いている。

「施設利用率」も前年度とほぼ同水準だが、今後の人口減少などにより減少することが考えられる。

「水洗化率」については、広報誌やホームページでの啓発活動を行ったことで増加したと考えられるため、今後も、継続していく。

(「施設利用率」「水洗化率」に係る分析をお願いします。)

### 2. 老朽化の状況について

浄化センター管理棟の耐震工事を行った。今後は、管理棟の電気機械設備の更新を行う。管渠については、定期的な点検調査を進めていくことで、異常箇所を早期に発見し、維持管理に努めていく。

### 全体総括

2系列運転を開始したことから、維持管理費の支出が増加し、現在の経営のままでは、一般会計の負担が増加することが明らかである。

料金の改定を進めることで、経費回収率を上げられるよう努めていく。

ストックマネジメント計画による計画的な維持管理をし、経費の平準化にも努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。